津田利治先生 略歴

明治三七年 三 月二四日　東京都に出生
大正一五年 三 月　慶應義塾大学法学部法律学科卒業
　同　年 七 月　慶應義塾大学法学部助手
昭和 二 年 四 月　兼 商工学校教員
　同　年　　　　弁護士登録
昭和 七 年 一 月　慶應義塾海外留学生として欧米留学
昭和 九 年 四 月　帰　国
　同　年 五 月　慶應義塾大学法学部助教授
昭和一一年 九 月　同 教授
昭和二九年 八 月　法制審議会商法部会委員
昭和三五年一一月　慶應義塾評議員（昭和四一年一〇月まで）
昭和三六年一〇月　日本私法学会理事
昭和四六年 三 月　慶應義塾大学法学部を停年により退職
　　　　　　　　慶應義塾大学名誉教授
平成一一年 二 月二五日　逝　去

津田利治先生　主要著作目録

一、著　書

商法（三）（會社法　その一）（慶應義塾大学通信教育教材）慶應通信　昭和二四年九月
商法（四）（會社法　その二）（慶應義塾大学通信教育教材）慶應通信　昭和二四年一一月
商法（五）（會社法　その三・完）（慶應義塾大学通信教育教材）慶應通信　昭和二五年二月
改正会社法の疑義と解明（日本私法學會　私法別冊）有斐閣　昭和二六年一〇月
会社法（その一）（慶應義塾大学通信教育教材）慶應通信　昭和二八年六月
会社法の大意（上）（慶應義塾大学通信教育教材　会社法（一）初版）慶應通信　昭和三三年六月
会社法の大意（下）（慶應義塾大学通信教育教材　会社法（二・完）初版）慶應通信　昭和三四年四月
西ドイツ株式法草案および理由書〔一九六〇年〕（慶應義塾大学商法研究会訳）
会社法の大意（上）（第四版）慶應通信　昭和三八年四月
会社法の大意（下）（第五版）慶應通信　昭和三九年五月
西独株式法（慶應義塾大学商法研究会訳）（慶應義塾大學法學研究會叢書13）慶應通信　昭和四一年五月
（慶應義塾大學法學研究會叢書22）慶應通信　昭和四四年三月
会社法以前　私家版　昭和四五年五月
ヘック利益法學（譯）（慶應義塾大學法學研究會叢書43）慶應通信　昭和六〇年三月
神戸寅次郎　民法講義（内池慶四郎と共編著）（慶應義塾大學法學研究會叢書60）慶應義塾大学出版会　平成八年二月

横槍 民法總論（法人ノ部）（慶應義塾大學法學研究會叢書66）慶應義塾大学出版会 平成 八 年 六 月

二、論 文

一人會社について（一） 法學研究 第二〇巻 第三號 昭和二二年一二月
法の解釋と運用―新憲法施行一周年によせて―
（慶應義塾大学通信教育教材）『時事解説』慶應通信 昭和二三年一一月
一人會社について（二） 法學研究 第二二巻 第一號 昭和二四年 一 月
改正株式會社法總評 法學研究 第二四巻 第四號 昭和二六年 四 月
改正株式會社法の解釋上の諸問題 法學研究 第二四巻 第六號 昭和二六年 六 月
新株引受權の正体 私法 第五號 昭和二六年一〇月
取締役會の權限を繞る二三の問題 法學研究 第二六巻 第三號 昭和二八年 三 月
会社の設立無効 田中耕太郎編『株式會社法講座 第一巻』（有斐閣）昭和三〇年一二月
資本と株式との復縁―無額面株式と資本の増減をめぐる問題― 財政経済弘報 第六〇一號 昭和三一年一一月
真実に合致しない振出日、振出地 手形小切手判例百選 昭和三八年一二月
発起人の意義 会社判例百選 昭和三九年 四 月
我国私法学に於ける所謂目的論的解釈への疑問
『会社法以前』所収（『神戸寅次郎 民法講義』に再録）昭和四五年 五 月
発起人の意義 会社判例百選（新版）昭和四五年一一月
真実に合致しない振出日、振出地 手形小切手判例百選（新版・増補）昭和五一年 五 月
法は何処に？―伊東乾君の法學「方法論の方法」を聴く― 法學研究 第五八巻 第一一號 昭和六〇年一一月

神戸寅次郎先生講述 債権総論講義（内池慶四郎と共同執筆）
近代日本研究 第七巻（『神戸寅次郎 民法講義』に収録） 平成三年三月
神戸寅次郎先生講述 債権各論講義（内池慶四郎と共同執筆）
近代日本研究 第八巻（『神戸寅次郎 民法講義』に収録） 平成四年三月
神戸寅次郎先生講述 民法総論講義（一）（内池慶四郎と共同執筆）
法學研究 第六五巻 第四號（『神戸寅次郎 民法講義』に収録） 平成四年四月
神戸寅次郎先生講述 民法総論講義（二）（内池慶四郎と共同執筆）
法學研究 第六五巻 第五號（『神戸寅次郎 民法講義』に収録） 平成四年五月
津田利治先生「横槍民法総論」質問録―私の研究ノートI―（内池慶四郎と共同執筆）
法學研究 第六六巻一二號 平成五年一二月
津田利治先生「会社法以前」質問録―私の研究ノートII「会社法以前」より「横槍 民法総論」まで―（内池慶四郎と共同執筆）ゲルハルト・リュケ教授退官記念論文集 中野貞一郎・石川明編『民事手続法の改革』（信山社）
平成七年六月

三、随筆、座談会記事

法學會維新史
法學會誌 第二二號 昭和一五年一二月
株式會社法の改正について
三色旗 第三〇號 昭和二五年九月
卒業論文と總合面接試問
三色旗 第五〇號 昭和二七年五月
株式払込金領収書をめぐる法律問題（大濱信泉、大橋光雄、鈴木竹雄、阿部康二、吉田昴の諸氏との座談會）
法律時報 第二六巻 第六號 昭和二九年六月

記名株券に関する除権判決―東京地裁判決昭和二九年（ワ）第三七〇九號をめぐって―（高鳥正夫、米津昭子、清水新、松岡和生、桝井富士彌の諸氏との座談會） 財政経済弘報 第六〇三號 昭和三一年一一月

商事判例評釈（監修） 財政経済弘報 第六二〇號～第一〇七七號 昭和三二年三月～昭和三九年一二月

神戸博士のこと 三色旗 第一二四號 昭和三三年 七月

当面の商法改正問題①②完（田中誠二、鮫島真男、駒田保太郎、三戸岡道夫の諸氏との座談會） 財政経済弘報 第一〇七九號、第一〇八〇號 昭和四〇年 一月

四、聞き書き

つむじまがりの一世紀――義父 津田利治から聞いたこと（津田祥子著） 私 家 版 平成一一年 一月